

模範解答

私は、長崎県佐世保市において、戸尾市場街と万津 6 区を中心としたマイクロツーリズムを実践したいと考える。

午前中は戸尾市場街を訪れる。戸尾市場街は大正時代から「佐世保の台所」として市民に親しまれてきた商店街であり、防空壕を活用した「とんねる横丁」には独特の歴史的景観が残されている。市場には海産物や水産加工品、青果などを扱う店舗が並び、昭和の雰囲気や人情味を感じながら地域の食文化に触れることができる。昼食では地元の魚介類を使用した料理を味わい、地域ならではの魅力を体験したい。

午後は万津 6 区を散策する。万津 6 区は、かつて交通の要所として栄えた港町であり、近年は若者による新たな店舗や交流空間の整備が進められている地域である。歴史ある街並みと新しい文化が共存しており、小規模な飲食店や雑貨店を巡ることで、地域住民との交流や港町特有の雰囲気を楽しむことができる。また、大規模観光地とは異なり、地域の日常に近い空気感を体験できる点も魅力である。

このプランは、遠方へ移動しなくても、地域の歴史や文化、食、人とのつながりを深く感じられる点がポイントである。また、地元商店を利用することで地域経済の活性化にも貢献できる。さらに、移動距離が短いため、交通費や時間を抑えながら気軽に観光を楽しむ点も魅力である。

一方で課題も存在する。まず、戸尾市場街では店舗の高齢化や後継者不足が進んでおり、地域の魅力を将来的に維持できるかが課題となっている。また、観光客の増加によって、ごみ問題や騒音など地域住民の生活環境へ負担が生じる可能性もある。さらに、観光客が写真撮影のみを目的として短時間で通過すると、地域文化への理解が深まらず、本来の地域らしさが失われる恐れもある。そのため、行政や観光事業者には観光マナーの周知や地域文化を学べる機会づくりが求められる。また、観光客自身も地域住民への配慮を持って行動することが重要である。